



AA日本ニューズレター

〒100-91
東京都中央郵便局
私書箱 916

AA 日本ゼネラル・サービス・ミーティング・文書委員会
TEL03-3590-5377 171 東京都豊島区池袋 2-23-3 橘ビル 9F

No.30

ワールド・サービス 評議員に選出されて



全国、各グループの代議員の皆様、この度はワールドサービネミーティング(WSM)評議員という大役を授けさせていただきましたことに心から感謝いたします。

地域サービスに携わってから7~8年余り、ワールドサービスのための一員になるのは未だ未だ早すぎる私だと思っています。全国には他にも経験の長い、豊かなメンバーがたくさんいる中で、推薦の話が出されたときには“まさか”の一言、後は考えれば考えるほど恐れと不安が横切り、シンプルに第3ステップ、徹底してゆだねることに努めました。

今回の投票については昨年、秋の全国評議員のミーティングの中で決定された第3レガシーに基づく選出となり全国グループ代議員に委ねられた訳です。

この間、私にはうれしい情報が他地域のメンバーから入って参りました。それは暖かい声援でした。地元で出会う人達も喜んで声をかけて下さったりと、だんだんに責任の重さを感じ始め、またまた開票までお任せステップに心をおき続けてきました。そして恐る恐るJ S Oに問い合わせたところ、“おめでとう、アキヨさん”何も言わないうちにスタッフから明るい声が返ってきました。グーとくるような、ホッとするようなこんな気持ちになったのは

私の初めての経験でした。全国からの、また個人的な仲間たちからの声援に私は胸が熱くなり、涙は止まりませんでした。“ありがとう仲間たち”この言葉が体中に走りました。

思えば私はAAにたどりついたとき、飲むことも、飲まないことも選べなく、言われるがままに、与えられるままに歩き続けただけでした。でもこのAAの道に入るとき、忘れられない大切な言葉がありました。それは母からの“この道一本と思ったら真っすぐに行きなさい” ケースワーカーから“もう君にはAAしかない”そして主治医から父に送られたAAを勧める一通の手紙。そして何よりもソプラエティを続けて行くために必要なスポンサーからの“私らは命がかかっているんですよ”と言いながら、いつも励ましと生きる勇気を与え続けてくれる愛でした。私の周りには最後のチャンスを精一杯応援してくれる人達が大勢いてくれました。そして私は仲間たちの愛に支えられながら本気で生きようという勇気をもることができたのだと思います。

このワールドサービスに対しAA日本もサービス体系化に伴い、一体性のなかでの「愛と奉仕」のサービス精神が色濃くなってきました。私は健全なAAグループの中で一人でも多くの尊い命が救われるようにと祈りながら、また苦しんでいるアルコールの手助けのために、世界の仲間たちと分かち合っ行ってきたいと思っています。

『世界は一つ』この一体性を固く信じて、各グループからの暖かい声を胸に、精一杯チャレンジしこの使命を果たしてゆきたいと願っています。AAのために、そして今後の日本AAの発展のためにお役に立てたらと思います。

最後にこの選挙のために共に働いて下さった方々、本当にありがとうございました。心からこの大きな恵みに感謝いたします。

ワールド・サービス。ミーティング評議員
アキヨ

ワールド・サービス・ミーティング 評議員選出選挙／当選確定のお知らせ

全国のサービス代表者の郵送投票による選出という選挙システムが、今回初めての試みとして実施されました。『AAの第3レガシーを遵守した全国全投票権者数の3分の2を獲得することにより当選が確定する方法』は厳しすぎるのでは声もありましたが、驚くほどの高い得票率で当選確定いたしました。

開票結果は以下のとおりです。

有権者数	225 (3分の2は150)
投票総数	173
棄権	52
得票数	167
無効投票数	0

WSM選挙管理委員会

「AAグループ」改訂版が 発行されました

AAのサービス構成がはじまる場所である「AAグループ」の役割についてのコンパクトなパンフレットの改訂版が発行されました。

今までの版では、グループにつながった人がまず出会う事柄から説明をはじめ「グループでは物事がどのように運ばれているか」が具体的に書かれているのに対し、今回の改訂版では「アノニミティの大切さ」などの伝統の精神が実際のグループの活動の中でどう生かされて行くべきなのかを、伝統のどの部分はどう関わっているのかに触れながら、分かりやすく説明しています。

新版・旧版というよりはAAグループについて違った角度から見た2種類のパンフレットといった方がふさわしい内容となっていますので、旧版の販売も継続します。この機会に併せてご一読ください。

AAグループ改訂版 550円

AAグループ旧版 350円

AAJSO 10周年の集い

新宿区の信濃町にJSOが設立されてから、今年の10月で丁度10年になりました。そこでささやかなお祝いのパーティーを以下のように開催します。

AAの仲間たちはもとより、関係者の皆様、ご家族の方々、年末でお忙しいこととは存じますが、ぜひ予定表に入れておいてください。

と き： 1991年12月22日(日)

午前10時～午後3時半

ところ： 飯田橋セントラルプラザ



ゼネラル・サービス
・ミーティングに
参加しませんか?

全国の地域評議員が一堂に会して、全国規模のサービスについての分かち合いを行うミーティングも第3回を迎え、現在着々と準備が進められています。

今回のメインテーマは

今なにが必要か

サービスという遺産

サブテーマは

《グループ・地区・地域・日本での環(わ)》

と決定させていただきました。

サービスに関心のあるメンバーの方もぜひ参加していただきたく、ご案内申し上げます。参加希望の方はJSOまでお問い合わせください。

日 時： 11月22日9:30～24日15:00

会 場： ホテル B & G (江東区深川1-6-3)

宿泊費： 1泊： 6,000円 (全日程は2泊です)

食事代： 朝食： 1,000円

昼食： 1,000円

夕食： 1,500円 懇親会： 3,000円

参加費(資料代含む)： 1,500円

GSM事務局



左記、3種類のサービスマークを日本AA—アルコホーリクス・アノニマス—は、商標法改正に備え、発行する文書に積極的に使っています。各グループでも、案内状、議事録等にAAの文書であることを明確にするため、積極的に使用下さることをお願い致します。

AAひむか

九州・宮崎



AAひむか

宮崎県の『ひむかグループ』が誕生して数カ月、こんな話をしました。

「よその会報を眺めとるばかりじゃなくて、俺たちも作るうか」

「そうね、月刊 ひむか といくか」

「週刊誌の時代ぞ。週刊 ひむか でいこう」

「かたちを先に決めると拘束される。拘束なしの AAひむか にしよう」

たった3人でたったこれだけの話をしただけで、あっさり ひむか の発行を決めてしまいました。

それは去年の1月のことです。

その翌週にナンバー1が4人のメンバーに配られました。その冒頭には『宮崎県に最初に作られたAAの名称は《ひむか》です。《ひむか》というのは、神主様が神様に向かって捧げるのりの中のでてくる《日向》のことです。NHKの天気予報で九州各地に雪だるまや傘のマークが出ているときでも、チッカチッカのお日様マークが出ている、むかしむかしから「日向かいの国」と呼ばれていた《ひむか》のことです。私たちはたった4人だけですが、アルコールのない人生を大いに楽しみ、アルコール浸りだった過去をゲラゲラ笑いながら吐き出しています』と発刊の辞が述べてあります。そのまま週刊の習慣がついてしまいました。今年の9/28日で76号になりました。

始めは4枚コピーするだけでよかった手作りの通信が、今では100枚印刷せねばならなくなってしまいました。その訳は、医療行政の方々や病院に勤めておられる方々にAAを知っていただきたいという私たちの願望によるものです。でも4分の1ほどは「こっちへもよこせ」という催促の結果の刷り増しといううれしい事情もあるのです。

9/29日、熊本のオープンミーティングに出たときには、優しい配慮をこめた「つぶれたのか」という気遣いや「なぜ？」という質問を受けました。郵便事務を私が滞らせたために、わたしはやや猜疑のまなざしで見つめられたわけです。ありがたいことです。多くの仲間が《ひむか》が読んでもらえている証しです。

《ひむか》はミーティングの中での話を文字で書きとどめることを基本とし原則としています。言葉を変えると、メンバーのメンバーによるメンバーのための

発言録です。それを100部刷って配っているのですから、AAの原理原則から見るとただ事ではないのです。きわどいショーの羽目が外れることもあるらしくて、グループのメンバーやセントラルオフィスから緩やかな注意も何度かいただきました。

部数が増えると問題が生まれます。《ひむか》の届け先の機関や個人に、ひむかのメンバーが交互に出向いてお話ししながら届けるのが最良なのですが、その可能範囲を越してしまいます。そこで郵便に頼ることになりますが、便利さは同時に安易な姿勢への転落と言えなくもないようです。第二の問題はコピー代と切手代です。コピー代だけでも4000円いります。三週分まとめて送っても8000円いることになりました。これはグループの負担としては大きすぎます。それを察した方々からの現金や切手のカンパを随分たくさんいただきました。

コピー代は《ひむか》のメンバーの勤め先である大手企業から社内印刷を黙認してくださる許しが出ましたので、用紙代だけで済むようになりました。『宮崎県における企業とAAの連携は、AA文書の「社内印刷黙認」という形によって画期的な第一歩を踏み出した』と後の世に語り継がれることになる重要な通過点なのかも知れません。

あと一つ別の企業と新しい形の連携が始まるかもしれない要素が突然生まれて来ました。数千人の企業の企業内病院の中堅看護婦さんが、AAの心を鋭くとらえてくださったからです。『社内教育もやろう。労務課とも時間をかけながらボチボチ話を進めていく努力をやってみよう』と言っておられます。

『AAとは飲んだくれたちがとぐろを巻いて古傷をなめあっているという認識しかなかった。酒を飲んでいたが酒飲みを止めた者も、酒を飲まずに来た者も、それぞれがこれから充実した人生をどう送るか、家族や世の中とどうやったらうまく付き合っていけるかを、腹の底を打ち割って謙虚な気持ちで語り合う営みが「AAの心」そのものだということがよく分かった。AAイコールアルコールではなくて、AAはアルコール症を含めた生き方の「心の在り様」なんだね。私の勤めている企業は社員七千人で、その中には明らかに依存症だと思われる人もいるし、大勢の予備軍もいるはずだ。私は個人的な生き方としてAAのことをもっと学びたい。企業内の人々の体の健康・心の健康

のお世話をさせてもらっている仕事の分野から考えてもAAをもっと学ぶとともに、多くの社員とAAとの橋渡し役として役立つことが出来るのではと考え始めた。会社を挙げて取り組むことはおいそれとはいくはずもないが、せかず焦らずじっくりと同僚や上司と煮詰めていく努力をしてみたい』と決意も述べられました。山登りはただひたすら右足と左足と入れちがえに前にさしだしているだけのことです。その時点では面倒臭いか、骨の折れるだけの反復作業です。でも、立

ち止まって後ろを振り返ってみれば『ほっ、こんなところまで登ってきたか』と嬉しがることだってあるのですから、もしかして、今作って出している『ひむか』だって『へー、こういう役割も果たしていたのか』ということが起きないとも限らない。神のみぞ知ることです。私たちには屁のようなことなのか、意義あることなのか見分けがつかない、ただ単なる週刊習慣なのです。読んでくださる人がいるのだから書かせてもらっているのです。

愛読者より

『ひむか』の人気は、そこに寄せられる読者からの便りによってもうかがい知ることができます。その中のほんの一部ですが、ここに紹介させていただきます。

素晴らしいウィットと、楽観主義を兼ね備えた『ひむか』の皆さんたちのミーティングの様子が私たちを楽しくさせてくれます。うっとおしい曇り顔も、『ひむか』を読んで思わずニヤリとします。

ほのぼのとする宮崎からの便りを、いつもゆったりした気分で読ませていただいています。ユーモラスな言葉ながら、AAの本質を見事についていると感心することしきりです。

『AAひむか』は伸び伸びと発言し、自由に記載され、全く圧感なしに読めて楽しい。

ここの病院では『ひむか』の海賊版が出回っています。

こちらの心が洗われるようで、また、苦しみのきいた言葉の数々で、次号が待ち遠しく思われます。

§ お待たせしました §

今までに何回かこの紙面をお借りし、全国の仲間それぞれの経験を語ってもらう原稿を呼びかけていた『個人の物語』が、この度、J S O 出版局から発行されました。一昨年の第1回の日本ゼネラル・サービス・ミーティングで提案、採択されてから、本当に長い間お待たせしてしまいましたが、この本に寄せられた8名の仲間の話は、年齢も、職業も、家族構成や生立ちも、回復の過程も、全くそれぞれですので、本の題名を『回復への道』と名付け、副題を(それぞれの場合)とさせていただきます。

女性の仲間も含むそれぞれの話は皆、本当に正直に自分を語るもので、読み合わせをする編集委員の目が

ら涙が落ちたことさえ少なくありません。

仲間の心を打つのは、美しい言葉でもなければ、格好の良い言い回しでもなく、仲間の正直な思いがそのまま伝わることだと信じ、編集は、その原文に忠実であることを第一に考えてなされました。

J S O 出版局からの発行ではありますが、日本G S M が初めて出版に携わったものであり、翻訳ものの多いAA出版物の中でも、これだけは全くの日本AAのオリジナルなものであることから、できるだけ多くの仲間に読んでいただきたいと願い、頒布価格を1冊、1000円と特別に安く設定させていただきました。

ご自分でお読みいただくのは勿論、新しい仲間や、関係諸機関へのメッセージの手段としてもお使いになってください。7名の仲間の話をそろえていることから、AAに対する考え方も普遍的となり、このプログラムの効果がどのような場合にも作動することと受け取ってもらえるものと思います。

本のご注文はJ S O までお願いいたします。

なお、この出版の後にも、私達は同じ形式で第二弾、第三弾と発行を続けて行く予定です。お読みになって自分の経験も全国の仲間と分かち合いたいとお思いになる方は、原稿用紙20枚程度にまとめてJ S O までお送りください。

原稿が集まり次第、次の発行の準備に取り掛かる予定です。



日本G S M 文書委員会
J S O 出版局